

<盛夏>

校長 佐藤 幹彦



先週の猛暑に比べれば少し気温が下がったものの、連日暑い日が続いています。学校敷地内にある木々では、多くのクマゼミが朝から「ジャンジャンジャン」と鳴いて、まさに「盛夏到来」を告げてくれている感じです。



そんな中、促進学級の生徒たちが春先から生活単元学習等で育ててきている花や野菜がぐんぐんと成長してきました。職員玄関前にあるプランターには、マリーゴールドやサルビアなど、苗をもらって育ててきた花々が咲き誇っています。また、学校菜園では、なす、きゅうり、ミニトマト、ピーマンなどがたわわに実をつけてきています。



照り返しの暑さからなんとなく揺らいで見えるアスファルト色の駐車場近辺ですが、生徒たちが育てている花や野菜のおかげで、学校に彩りを添えてくれています。



生徒たちには収穫の喜びを感じながら、猛暑の中でも、自分たちが気持ちを込めてお世話をすることによって、植物の「生命」が脈々と育まれていることを実感してくれることを願っています。